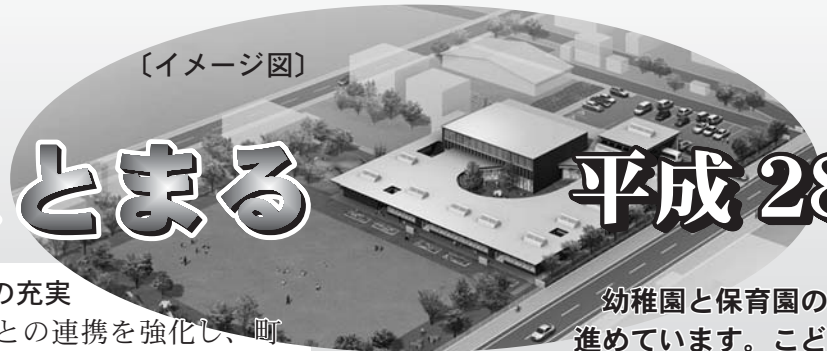


訓子府町こども園

基本計画まとまる

平成28年4月開設へ実施設計委託



〔イメージ図〕

楽しく過ごせるこども園に

基本計画では、次の6本の柱を掲げ、「こども園にかかわるすべての人（園児・保護者・地域の方々・職員）が楽しく過ごせる園にすることをめざしています。

①異年齢活動の充実

● 0歳～5歳児が同じ施設で生活することを生かし、異年齢のかかわりを大切にする

②地域性を生かした活動

● 訓子府町の特性を生かし、たくさんの自然との触れ合いを楽しむ活動を行う

③食育活動の充実

● 子どもたちが豊かな食の体験を積み重ね、食への関心をはぐくむ
● 給食には地域食材を取り入れる

④地域との触れ合い活動の充実

● 小学校・中学校・高校との連携を強化し、町内教育機関の一貫した教育をめざす
● 身近な大人や地域の方たちとの触れ合いを大切にする
● 子どもだけではなく、保護者の方たち、地域の方たちにとっても利用しやすい園をめざす

⑤子育て支援センターとの連携

● 同じ敷地にあることを十分に生かして相談体制の充実に努める

⑥職員の資質向上

● 職員の研修などにも力を入れ、質の高い保育・教育が行われる園をめざす

幼稚園と保育園の一体化施設「訓子府町こども園」の基本計画がまとまりました。現在、実施設計を進めています。こども園の運営計画案や教育・保育内容について広く町民の皆さんの声を聴きながら策定作業に取り組み、平成27年度中に着工し、開設は、平成28年4月の予定です。

幼稚園・保育園一体化した総合施設

幼稚園は、3歳から就学前までの幼児に対する学校教育、保育園は、0歳から就学前の保護者の就労などにより家庭で保育ができない子どもの保育といった目的の違いや運営基準などの違いがあります。

国の「認定こども園制度」は、就学前の子どもに対する教育・保育と保護者に対する子育て支援を総合的に提供する仕組みです。認定こども園は、幼稚園と保育園のそれぞれの良いところを生かしながら、その両方の役割を果たす新たな施設で、就学前の教育・保育を一体として捉えた一貫した総合施設です。

子どもとともに集う憩いの場

町は、訓子府幼稚園とくねっぷ保育園の老朽・狭あい化を解消するとともに、幼稚園および保育園機能を有し、子どもたちの初期発達を支える重要な施設として訓子府町こども園を開設します。

施設のイメージは、イメージ図と模型の写真をご覧ください。現在、実施設計中ですが、幼稚園・保育園の敷地に延べ床面積2000㎡程度の一体化施設を建設します。

幼稚園・保育園二つの機能に加え、隣接の子育て支援センターとの一層の連携を図ります。

ヒノキ材利用した「はだし保育」など

施設や運営面など総合的な特色を次の4点としています。

1. 一貫した教育・保育の提供

0歳から5歳児が、一貫した教育・保育を受けることができ、すべての子どもが安全・安心に過ごせる施設をめざし、また、小・中・高校との連携強化を図ります。

2. 自園内調理での「完全給食」

農業の町・訓子府町で実った、安心でおいしい農産物をたくさん使った給食による、子どもたちの健康で元気な体づくりに取り組みます。

3. ヒノキ材を利用した「はだし保育」

足からの刺激により、発達を促す「はだし保育」を実践するため、子どもたちの足に良いヒノキ材を利用します。

4. 省エネルギーに配慮した施設

地中熱（ヒートポンプ）・太陽光（ソーラー）などの自然エネルギーを利用した、省資源・省エネルギーの施設にします。



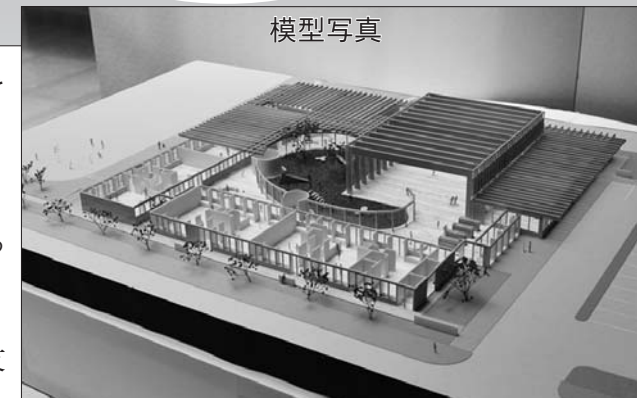
施設整備の基本方針は「未来にきらめく子どもたちに生きる力を」とし、四つのゾーンで構成されます。

【乳幼児保育室ゾーン】 0歳から2歳児が過ごす場。ゆったりとした家庭的な雰囲気の中で子どもたちが元気に活動する場とします。

【幼児保育室ゾーン】 3歳から5歳児が過ごす場。同年齢の友達と一緒にクラス活動を行う場とします。

【交流ゾーン】 遊戯室・広い回廊・中庭・園庭・グラウンドがあり、0歳から5歳児全学年が交流を深める場とします。

【食育ゾーン】 給食調理室・調理実習スペースなどで、0歳から5歳児全学年が交流を深める場とします。



模型写真

〔イメージ図〕

